

全国精労協 30周年記念講演

当事者が

社会を

変える時代が

やってくる!!!

2月29日 (土) 13:30~15:30

@ワйм貸会議室 お茶の水

講師：川村 敏明さん (浦河ひがし町診療所 精神科医)

早坂 潔さん (浦河べてるの家)

山根 耕平さん (浦河べてるの家)

司会：全国精労協 副代表 渡邊 乾

(訪問看護ステーションKAZOC')

全国精労協は、1990年に発足した精神科病院の労働組合で作る協議会です。私たちは30年間に渡り、精神科医療のあり方とその実現を求めて活動を行なってきました。

20周年を迎えた際、私たちは「当事者が治療の主体になる時代がやってくる」と強く認識し、その先達である北海道浦河べてるの家の向谷地生良さんをお招きし、記念講演を行なって頂きました。

あれから10年。

当事者の人生の経験を、お金と時間を使って学びに行くことが当たり前の時代がやってきました。

これからの10年。

私たちは、当事者が社会を作る主体となる時代が、いよいよやってくるという機運を感じています。

全国精労協発足30周年を迎えた今回、大きな変革の時を迎える精神科医療の機運を自他共に感じるために、一般公開企画として、改めて北海道浦河の地から、3名のゲストをお招きしてお話をして頂きます。

精神科病院が無くなった浦河の地での実践と暮らしから、新しい時代の到来と、生きることの本質に迫る活動の実現について学ぶ機会としたいと思います。

日時：2020年2月29日 土曜日 13:30～15:30（開場 13:00）

場所：ワйм貸会議室 お茶の水 Room A

東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル4F

(<https://waim-group.co.jp/space/ochanomizu/access.html>)

参加費：2000円（当日支払い）

一般参加枠：30名

申込み：zenkoku.seirokyo@gmail.com（当日参加可）

主催：全国精神医療労働組合協議会（全国精労協）

<https://seirokyo.jimdofree.com/>

問合せ：Mail zenkoku.seirokyo@gmail.com

Fax 072-229-7654

全国精労協とは

当団体は、全国の精神科病院の労働組合で作る協議会です。1990年に発足して以来、精神科医療の改革と誇りをもって働ける職場の実現を目指し、毎年厚生労働省と交渉をしたり、年数回の全体研修を行ってきました。

私たち全国精労協は1990年の結成以来、精神医療に従事する労働者の生活と権利を守り、同時に、精神障害者の人権の保護と適正な医療を受ける権利を守る為、活動を続けています。

精神医療は、現在我が国の医療の中で、最も患者さんの人権保障が立ち遅れている領域です。

私達は、特にこの問題を重点に据えて、過去22年、23回に渡る厚生省交渉を重ね、改善のために尽力し続けています。

又、この事は、私達精神医療労働者が誇りの持てる医療労働に従事していく事にも通じるものと考えています。